



東京帝國大學名譽教授河喜多能達

敘勲ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正十四年四月三日

内閣總理大臣子爵加藤高明



内

閣

賞勳局第七一號  
大正十四年四月二日  
賞勳局總裁



内閣總理大臣  
賞勳局總裁

東京帝國大學名譽教授正三位勳二等河喜多能達儀ハ明治十五年九月工部大學助教同三十年七月東京帝國大學工科大学教授ニ任セラレ爾來大正十年六月依願退官ニ到ルマテ實業四十年間專ラ躬ヲ學術研究ト育英事業致シ大正十一年二月東京帝國大學名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル其間鑛毒調査委員實業學

賞勳局

校教科細則調査委員九州帝國大學創立委員等トナリ又明治三十三年以來應用化學科教室主任トシテ勵精其任ヲ盡シ同科ノ擴充完成ヲ見ルニ到ラシメタリ同人專攻スル所ノ學科ハ糖類工業化學澱粉工業化學發酵化學油脂化學等ニ涉リ其學識ノ深遠精確ナル實ニ斯界ニ於ケル權威トシテ一世ノ推服スル所タリ學術研究ノ最著名ナルモノハ獸骨ノ利用ニ關スル研究鳥糞ノ成分研究雷汞ノ研究等ニシテ此ノ外多數研究者ノ指導者トシテ完成シ得タル研究極メテ多シ而シテ子弟ノ訓

育ハ實ニ懇切丁寧ヲ極メ之レニ接スル者均シク其ノ  
高德ヲ欣慕セサルモノナク本邦化學工業界ニ重要  
ノ地位ヲ占ムル者ニシテ同人ノ陶冶ヲ受ケサルモノ甚々  
稀ニシテ本邦化學工業輓近ノ發達ハ實ニ同人ノ心  
血因テ致ス所ナリトス更ニ同人ハ内外ニ於ケル著名ナル  
學會ノ會員トシテ努力シ本邦各學會現時ノ發  
達ハ其ノ努力ニ基クモノ甚カラス斯クノ如ク明治初代  
ヨリ斯學ノ泰斗トシテ本邦斯學ノ進歩ト育英  
トニ盡瘁シ以テ本邦化學工業ノ健實ナル發達ニ基  
礎ヲ固メタル功績洵ニ顯著ノ者ニ候處目下病氣危  
篤ノ趣ニ付此際特ニ旭日重光章加授セラレ度此  
段允裁ヲ仰ク

賞 勲 局

東京帝國大學名譽教授正三位勲三等河喜多能達  
授旭日重光章

右ハ明治十五年九月工部大學助教授ニ任シ同  
二十八年三月應用化學研究ノ為メ獨英兩國へ  
留學ヲ命セラレ同三十年六月歸朝同年七月  
東京帝國大學工科大學教授ニ任セラレ爾來  
大正十年六月依願退官ニ到ル迄實ニ四十年  
間專ラ躬ヲ學術研究ト育英ノ業ニ致シ大正  
十一年二月東京帝國大學名譽教授ノ名稱

文 部 省

ヲ授ケラル而シテ同人ハ其ノ間鑛毒調査委員  
實業學校教科細則調査委員九州帝國大學  
創立委員等トナリ大正三年四月歐米各國へ出  
張仰付ラレ又明治三十三年以來應用化學科  
教室主任トシテ勵精其ノ任ヲ盡シ同科ノ擴充  
完成ヲ見ルニ到ラシメタリ 同人專攻スル所ノ學科  
ハ糖類工業化學 澱粉工業化學 纖維素工業  
化學 醱酵化學 油脂化學等ニ涉リ其ノ學識  
ノ深遠精確ナル實ニ斯界ニ於ケル權威トシテ一  
世ノ推服スル所タリ 學術研究ノ最モ著名ナル

モノヲ擧クレハ獸骨ノ利用ニ關スル研究 鳥糞ノ  
成分研究 雷汞ノ研究等ニシテ此ノ外多數研究  
者ノ指導者トシテ完成シ得タル研究極メテ多シ  
同人ハ資性謹嚴廉潔考慮周到緻密ニシテ  
任スル所必ス其ノ責務ヲ果サスニ止マス其ノ所  
論ハ常ニ衆ノ重スル所タリ而シテ子弟ノ訓育ハ  
實ニ懇切丁寧ヲ極メ之レニ接スル者均シク其ノ  
高德ヲ欣慕セサルモノナシ 實ニ本邦化學工業  
界ニ重要ノ地位ヲ占ムルモノニシテ同人ノ陶冶ヲ  
受ケサルモノ甚タ稀ニシテ本邦化學工業軌近ノ

文 部 省

發達ハ實ニ同人ノ心血因テ致ス所ナリトス更ニ  
同人ハ内外ニ於ケル著名ナル學會ノ會員トシテ  
努力シ殊ニ本邦各學會現時ノ發達ハ實ニ  
其ノ努力ニ基クモノ尠カラス是レ亦學術ノ進  
歩普及ニ貢獻セントスル趣旨ニ外ナラス 斯ノ如ク  
同人カ明治ノ初代ヨリ斯學ノ泰斗トシテ四十餘  
年ノ久シキニ亘リ本邦斯學ノ進歩ト育英トニ盡  
瘁シ依テ以テ本邦化學工業ノ健實ナル發達  
ノ基礎ヲ固メ又躬自ラ範ヲ示シテ高潔謹嚴ノ  
氣風ヲ醸成シタルハ實ニ本邦ノ現勢ニ對シ風教

上效果甚大ニシテ共ニ其ノ效績ハ近代學界ニ  
於テ比儔罕ナル所ナリ然ルニ同人ハ目下病氣  
危篤ニ陥リ命旦夕ニ迫レリ希クハ此ノ際特ニ  
其ノ效績ヲ録セラレ頭書ノ通勲章加授ノ  
榮ヲ與ヘラレシコトヲ茲ニ謹テ奏ス

大正十四年四月一日

文部大臣岡田良平



文  
部  
省

河喜多能達 指導ヲ受ケタル其主ナル者

東京工業試験所長

工学博士

小寺房治郎

東京帝國大学教授

工学博士

田中芳雄

今兼燃料研究所長

工学博士

鴨居武

大阪工業試験所長

工学博士

大島義清

印刷局印刷部長

工学博士

厚木勝基

九州帝國大学工学部長

工学博士

中川世助

東北帝國大学教授

工学博士

荏司市太郎

九州帝國大学教授

工学博士

矢野道也

印刷局印刷部長

工学博士

西川虎吉

印刷局印刷部長

工学博士

井上仁吉

印刷局印刷部長

工学博士

宇佐美桂一郎

印刷局印刷部長

工学博士

寺野寛二

印刷局印刷部長

工学博士

安藤一雄

印刷局印刷部長

工学博士

君嶋武男

印刷局印刷部長

工学博士

中沢良夫

印刷局印刷部長

工学博士

喜多源逸

印刷局印刷部長

工学博士

榎橋富五郎

印刷局印刷部長

工学博士

佐伯勝太郎

印刷局印刷部長

工学博士

中井四郎

印刷局印刷部長

工学博士

三好久太郎

印刷局印刷部長

工学博士

三山喜三郎

印刷局印刷部長

工学博士

水田政吉

印刷局印刷部長

工学博士

藤野誠造

印刷局印刷部長

工学博士

藤野誠造

文部省

カワキタミチダ  
河喜多能達

熊本縣士族旧熊本藩  
嘉永六年八月二日肥後國熊本京町ニ於テ生ル  
本籍地、熊本縣鹿本郡植木町百七十九番地

年 號 月 日

學業官職賞罰等

當該官衙等

明治八年四月十六日 工學寮(後工部大學)ニ入リ六箇年間

化學修業

明治四年五月十五日 工部大學校卒業工學士ノ位ヲ受領ス

同 年五月廿四日 任工部七等技手

同 年同 日 工作局出勤申付

同 年五月廿一日 大學校詰申付

同 年六月十七日 教授補申付

同十五年七月一日 石油試驗取調委員囑任候事

履歷用紙

東京帝國大學

明治五年七月十五日 任工部六等技手

同 年九月十一日 任工部大學校助教授

同 年九月十五日 石油試驗取調局閉局ニ付委員解任

同十六年十月廿六日 年俸金四百八十圓下賜

同十七年十二月三日 任工部大學校助教授

同 年同 日 年俸金六百圓下賜

同十八年二月廿五日 敘正八位

同十九年三月廿六日 任工部大學助教授

同 年四月十日 敘奏任官六等

同 年同 日 上級俸下賜

同 年十月十六日 英國倫敦化學會會員トシ

同廿二年三月廿日 東京電氣學校ニ於テ化學教授ヲ囑

託ス

逓信省

工部省

同

內務省

工部省

太政官

同

同上

內閣

同上

文部省



明治廿三年十月廿日 陞敍奏任官五等  
 同 年同月廿日 上級俸下賜  
 同廿四年八月廿六日 七月廿四日 勅令第三百三十九号 公布三付三級  
 俸トシ  
 同 年十月廿日 敍從七位  
 同廿五年十月廿日 勅令第九十六号 高等官々等俸給令公布  
 三付高等官七等

同廿六年九月十日 本俸一級俸下賜  
 同廿七年十月廿日 陞敍高等官六等  
 同廿八年三月十日 敍正七位  
 同 年三月廿日 應用化學研究為滿二年間獨國及英  
 國へ留學ヲ命ス

同廿九年六月十四日 外國留學滿期歸朝  
 履歷用紙  
 東京帝國大學  
 同 三十年七月二十日 任東京帝國大學教授  
 文科大學  
 同 年同 日 敍高等官六等  
 同 年同 日 本俸七級俸下賜  
 同 年同 日 應用化學第三講座担任ヲ命ス

同 三十一年十二月廿日 敍勳六等授瑞寶章  
 同 三十三年三月廿七日 明治三十一年勅令第三百四十四号 學位令第  
 二條ニ依リ茲ニ工學博士ノ學位ヲ授ク  
 文部大臣  
 樺山資紀  
 同 年五月五日 陞敍高等官五等  
 同 年七月十日 敍從六位  
 同 年九月十日 日本俸六級俸下賜  
 同 三十三年五月廿日 陞敍高等官四等  
 同 年九月廿日 敍正六位  
 同 三十五年三月十七日 鑛毒調査委員被仰付

同 年十月廿日 敍從七位  
 同 年十月廿日 勅令第九十六号 高等官々等俸給令公布  
 三付高等官七等  
 同 年三月廿日 應用化學研究為滿二年間獨國及英  
 國へ留學ヲ命ス  
 同 廿九年六月十四日 外國留學滿期歸朝  
 履歷用紙  
 東京帝國大學  
 同 三十年七月二十日 任東京帝國大學教授  
 文科大學  
 同 年同 日 敍高等官六等  
 同 年同 日 本俸七級俸下賜  
 同 年同 日 應用化學第三講座担任ヲ命ス  
 同 三十一年十二月廿日 敍勳六等授瑞寶章  
 同 三十三年三月廿七日 明治三十一年勅令第三百四十四号 學位令第  
 二條ニ依リ茲ニ工學博士ノ學位ヲ授ク  
 文部大臣  
 樺山資紀  
 同 年五月五日 陞敍高等官五等  
 同 年七月十日 敍從六位  
 同 年九月十日 日本俸六級俸下賜  
 同 三十三年五月廿日 陞敍高等官四等  
 同 年九月廿日 敍正六位  
 同 三十五年三月十七日 鑛毒調査委員被仰付

同 年三月廿一日	本俸五級俸下賜	文部省
同 年七月廿一日	實業學校教科細則調査委員ヲ命ス	同上
同 年六月三日	陞敘高等官三等	内閣
同 年十月十日	敘從五位	官内省
同 年三月廿日	敘勳五等授瑞寶章	賞勳局
同 年一月廿五日	工業學校窯業及漆工ニ関スル教科取調委員ヲ命ス	文部省
同 年三月廿日	陞敘高等官二等	内閣
同 年九月廿日	敘正五位	官内省
同 年三月廿日	敘勳四等授瑞寶章	賞勳局
同 年六月廿日	勅令第三百三十三号公布ニ付六級俸トス	文部省
同 年六月廿日	賜本俸五級俸	同上
同 年五月廿五日	工科大学創立準備委員ヲ囑託ス	同上
履 歴 用 紙 東京帝國大學		
同 四十年四月廿日	鑛毒調査會委員被仰付	内閣
同 四十年七月廿六日	敘勳三等授瑞寶章	賞勳局
同 四十四年三月二十日	敘從四位	官内省
同 四十五年六月三十日	賜本俸四級俸	文部省
大正二年三月廿一日	鑛毒調査會委員被免	内閣
同 年十月廿日	陞高等官一等	内閣
同 三年四月廿日	歐米各國へ出張被仰付	同上
同 五年五月一日	敘正四位	官内省
同 六年五月廿日	賜本俸三級俸	文部省
同 年七月廿日	敘勳二等授瑞寶章	賞勳局
同 八年四月一日	俸給令改正 賜本俸三級俸	文部省
同 十年五月三十日	敘從三位	官内省
同 年六月六日	依願免本官	内閣

同 年六月三十日	賜本俸一級俸 敍正三位 特旨ヲ以テ位一級被進	文部省
同 士年二月十四日	帝國大學令第十三條ニ依リ勅旨ヲ 以テ東京帝國大學名譽教授ノ名 稱ヲ授ク	官内省 内閣
履歷用紙		
東京帝國大學		

賞勳局

文部省

文 部 省

文部省第一六号

東大八七號

河喜多能達敘勲件

右 上奏書及進達候也

大正十四年四月一日

文部大臣岡田良平



内閣總理大臣子爵加藤高明殿

裏面白紙